

●放課後子ども教室(体験型)

花高小学校「わくわく広場」

花高小学校では地域のボランティアグループ「花のわ会」と地域の役員、PTA会員が共同で、体験型の放課後子ども教室を年間24回運営しています。

9月16日に開催された茶道教室は地域の人が講師になり、58人の希望者から選ばれた28人が参加しました。ほかにもガーデニングや読み聞かせなどの教室が開かれており、どの教室も好評です。中には参加希望者が100人を超えるものもあります。

活動を通して地域の人とPTAが顔見知りになることで、安全・安心な輪がさらに広がっています。



茶道教室・講師 角町宮子さん

子どもたちはお茶菓子を食べることを楽しみにしているようですが、わたしは月に1度子どもたちに会えるのが楽しみです。校外で会っても、子どもたちがあいさつしてくれるのがうれしいですね。



PTAのお母さんたちの手を借りながらお茶をたてる児童たち(上) 初めて頂くお茶の味は…(右)

●放課後子ども教室(見守り型)

柚木小学校「放課後子ども教室」

毎週水曜、柚木小学校では、授業を終えた子どもたちが校舎2階にある第1学習室へ集まり、放課後子ども教室が始まります。

ここではコーディネーターとPTA、地域が中心となり、1年生から5年生までの13人の子どもたちが宿題をするのを見守ったり、一緒に遊んだりする「見守り型」で教室を運営しています。

教室の基本は見守り型ですが、ドッジボールやスイカ割りをしたり、子牛と触れ合ったりと、参加した子どもたちが学年を超えて一緒に楽しめる活動にも取り組んでいます。



コーディネーター 松山宏子さん

地域のおばちゃんとして子どもたちともしっかりかかわりたいと思い、放課後子ども教室に参加しています。まちでも積極的に声を掛けていますよ。



時には上級生が宿題を見てくれることもあります(上) スイカ割りを楽しむ児童たち(左)

●放課後児童(学童)クラブ

「赤崎学童クラブ」

赤崎学童クラブは赤崎小学校の敷地内にあり、1年生から6年生までの65人が通っています。留守家庭の子どもたちが「遊び・学習・生活の場」として放課後を過ごすこのクラブでは、「ただいま」のあいさつから日課が始まります。

それぞれが学校の宿題を済ませた後は、全員そろってのおやつ時間。おやつは毎日、指導員の手作りです。その後、保護者が迎えに来るまで外遊びや読書などで楽しく過ごしていきます。

学童クラブは、子どもにとっても保護者にとっても、安全・安心な放課後の居場所になっています。



保護者会代表 渡辺隆善さん

小学校の敷地内に学童クラブがあることを知って、この地域に転居してきました。共働きのため、子どもを一人で家に残すことが不安だったので、とても助かっています。



学童クラブで宿題に取り組む児童たち(上) 今日のおやつは「ワカメ入り蒸しパン」(左)



●従来からの取り組み

これまでも、放課後にはいろいろな活動や取り組みが行われてきました。

子どもたちの健全育成を目的とした「社会体育」「児童センター」「地域活動(子ども会等)」などは、子どもたちが自身が活動することで、放課後の居場所づくりとしての大きな役割を果たしています。

また各地域で取り組まれている「見守り活動」「危険個所点検」「あいさつ運動」などは、安全・安心な環境づくりに大いに役立っています。こうした地域ぐるみでの連携が、豊かな放課後づくりには欠かせません。

佐世保市放課後子どもプランの合言葉は「できる範囲で、できることから」。これからも、地域の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

地域の人が指導する「社会体育」も市内では盛んに行われています(写真は江上小学校での社会体育の様子)



清水っこ見守り隊 田中克幸さん(写真右)

地域の有志で毎日、朝と夕方に清水小学校の通学路に立っています。4~5年前から活動していますが、子どもたちの成長が目に見えて分かって楽しいですよ。

